

— 昭島市郷土資料室だより —

魚 水 いさな



vol.1



アキシマクジラ発見60周年!

発見60周年の関連記事は2ページにあります

①アキシマエンシス国際交流教養文化棟くじらホール

②AKISHIMAプレート

③アキシマクジラ化石

郷土資料室から、郷土資料室だより「鯨—いさな—」が創刊されました。「いさな」は万葉集にも見られるクジラの古い呼び方で、来場者・スタッフによる投票で郷土資料室だよりのタイトルに選ばれました。

本誌では、季節ごとに、学芸員が様々なトピックをご紹介します。ぜひお手に取って、お楽しみください。

目次

特集ページ

アキシマクジラ発見60周年……………p.2

郷土資料室トピック

紅林家文書「北条幻庵感状」……………p.3

イベント案内・お知らせ

・郷土資料室利用案内……………p.4

アキシマクジラ発見 60 周年

1961年8月20日、多摩川河川敷JR八高線多摩川鉄橋の11番橋脚の下流約36メートルの地点にて田島政人さんと長男芳夫さんによってアキシマクジラの化石が発見されました。2021年は、アキシマクジラ発見60周年を迎える節目の年といえます。節目の年と本誌の刊行を迎えるにあたり、昭島市教育福祉総合センター「アキシマエンス」の愛称の由来となったアキシマクジラ化石発見・発掘の様子をご紹介します。

基本情報

分類：脊索動物門 脊椎動物亜門 哺乳綱 鯨偶蹄目
コククジラ科 (*Eschrichtiidae*) コククジラ属
(*Eschrichtius*) 種 (*E. akishimaensis*)

和名：アキシマクジラ

年代：新生代第四紀前期更新世(約177-195万年前)

発見：

1961年8月20日 田島政人さん・芳夫さんが多摩川河床で露出している化石の一部を発見。同年8月21日～25日専門書をみながら毎日発見現場に行き、簡単な記録をとる。

発掘

期間：1961年8月28日～同年9月3日

調査団：昭島市教育委員会 昭島市文化財保護審議会 国立音楽大学 国立科学博物館 立教大学ほか

内容：専門家によりクジラの化石と判明し、河床に分布する化石を人力にもかかわらず驚異的な早さで掘り出し、市内の成隣小学校の空き教室へ持ち出した。

成果：全身9割近くの骨化石、サメの歯化石12点等



図1 アキシマクジラ復元図絵



図2 アキシマクジラ発見場所
(撮影 小平市 鷹取健さん)

幻の化石～アキシマクジラ共産化石～

アキシマクジラ化石発掘の際にはサメの歯化石や貝の化石が“共産化石(随伴化石)”として多数見つかっています。郷土資料室では共産化石の中で、サメの歯化石が展示されています※。しかし、アキシマクジラが発掘された当時の現場は関係者、見物される市民の方、地元メディアの方々が多く行き交う慌ただしい状況であったため、写真の二枚貝化石をはじめ行方がわからない化石がまだあります。これらの化石は昭島市の地史的財産であると同時にアキシマクジラ発掘史にまつわる歴史的財産でもあるため、確実に後世に継承し残していくことが昭島市郷土資料室の責務と考えています。アキシマクジラ発見時の残りの化石の行方に関してご存

じの方、化石をお持ちの方は当室までご連絡または直接お越しください。

(学芸員 尾崎)



図3 アキシマクジラ共産化石

※サメの歯化石は2021年5月現在、研究のため一時的にレプリカを展示しています。

紅林家文書「北条幻庵感状」

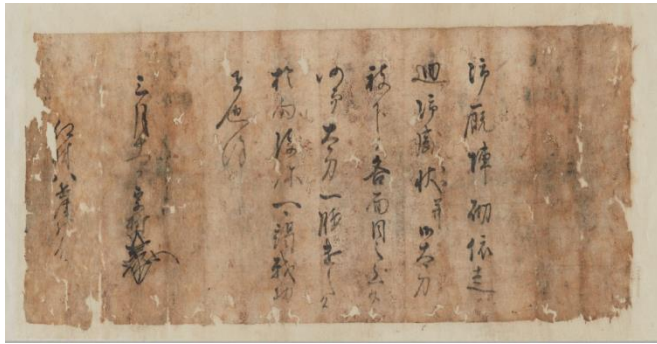


図1 紅林家文書の北条幻庵感状

今回ご紹介するのは昭島市指定文化財「紅林家文書四通」の中の「北条幻庵感状」です。アキシマエンスの開館に際し、紅林隆男氏から寄贈されたこの史料は縦約 21cm、横約 50cmの^{たてかみ}縦紙であり、裏打ち修復がなされています。ここで現代語訳を掲げてみます。

「御厩陣」において、奔走してくれたので、(当主の氏政公より)感状並びに太刀一腰が下賜された。各々、栄誉の至りである。よって(私、幻庵より)太刀一腰を遣す。今後ますます戦功を^{つく}竭してほしい。以上。

三月十一日 宗哲(花押)

この書状は、冒頭にある「御厩陣」において活躍した紅林八兵衛の働きを、後北条氏の宿老である北条^{こほうしやうし}幻庵(1493?~1589?)がたたえた文書です。(幻庵は宗哲とも呼ばれますが、本稿では便宜上「北条幻庵」で統一します。)

それでは、感状に記されている文言から、この古文書の内容について詳しく見ていきましょう。

まず、冒頭の「御厩」という文字は当初、「厩橋(まやばし)」と解されてきました。「厩橋」とは現在の前橋のことで、今も遺構が残っている厩橋城を拠点として、越後の上杉氏と後北条氏を含む諸勢力が戦いを繰り返していました。この抗争に際して、八兵衛が後北条氏方の兵として従軍し、功績を挙げたと考えられるのは何ら不自然ではありません。

翻刻(ほんこく)
御厩陣 砌依走
廻御感状 并御太刀
被下候 各面目之至候
仍而太刀一腰遣之候
於向後弥可謁戦功
者也謹言
三月十一日 宗哲(花押)
紅林八兵衛 殿

しかし、後の研究において、「御厩」は「御厨(みくり、みくりや)」の誤字ではないかという説が提出されました。「御厨」とは、お供え物を用意するための家屋が地名に転じたもので、現に後北条氏は武田氏と、現在の御殿場に当たるこの御厨を舞台に争っており、確かに「御厩は御厨の誤字である」という考えは成り立ちます。

加えて、紅林家文書四通の中で唯一発給年代が明確である「北条氏政感状」では、元龜二年(1571年)、御厨の深沢城をめぐる武田氏との戦いに際して、八兵衛が松長左大夫という人物と協力して敵一人を討ち取ったことをたたえており、「北条幻庵感状」の中の「各々」はこの2人を指すと考えると納得がいきます。つまり「北条氏政感状」と「北条幻庵感状」は同年に発給されたと考えることができ、八兵衛は、(幻庵から見て大甥だが)後北条氏の当主である氏政の「御太刀」と「御感状」および、幻庵からの「太刀」を拝受したことになるのです。

(学芸員 鈴木)

参考文献

- 角川文化振興財団『中世古文書金石文集成 第3巻』角川書店、1995年
- 下山治久『後北条氏家臣団人名辞典』東京堂出版、2006年
- 黒田基樹『北条氏年表 宗瑞・氏綱・氏康・氏政・氏直』高志書院、2013年
- 黒田基樹『北条氏政一乾坤を截破し太虚に帰す一』ミネルヴァ書房、2018年
- 黒田基樹『北条氏綱一勝って甲の緒をしめよ一』ミネルヴァ書房、2020年

イベント案内・お知らせ

毎月第3土曜日開催

「ものしり化石塾 in アキシマエンス」

お手持ちの化石を調べるお手伝いを、学芸員がいたします。多摩川で採れた化石をお持ちの方、昭島の自然史についてご質問がある方、ぜひご来場ください！化石に関するクイズコーナーもありますよ。詳しくは郷土資料室までお問い合わせください。

次回は7月17日開催予定

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催日等が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

6月開催予定

いにしえ 古の生活文化にさぐる にっぽんの「KIREI」水と生活・そして未来 in 昭島

日本の公衆衛生や、昭島の水をテーマにした展示を行います。ぜひご家族で遊びにいらしてください！

期間：2021年6月22日（火）～7月7日（水） 会場：アキシマエンス市民ギャラリー 入場無料

○様々なイベントも開催予定です！

- ・特別セミナー
 - ・和柄缶バッチづくりなどのワークショップ
 - ・昭島だいすき！絵てがみ展
- 詳しくは公式ホームページをご覧ください。 <https://www.chuosenden.co.jp/kirei/>

7月開催予定

アキシマクジラ化石発見60周年記念事業「帰ってきたアキシマクジラ」

アキシマクジラが発見された当時の作業風景や、採取された化石を展示するとともに、アキシマクジラのこれまでの研究史と、これから期待される研究を中心にご紹介いたします。

期間：2021年7月13日（火）～8月29日（日） 会場：アキシマエンス郷土資料室、シアター 入場無料

- 関連イベント
- ・アキシマクジラ化石発見60周年記念講演会
 - ・観察会「電子顕微鏡でみるアキシマクジラ」
- 詳細は今後、郷土資料室ホームページに随時掲載予定です。

お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご協力をお願い致します

- ・37.5℃以上の発熱や体調不良の場合はご来場をご遠慮ください。施設入口での検温、チェックシートのご記入をお願い致します。
- ・ご入室の際はマスクを着用いただき、手・指の消毒にご協力をお願い致します。
- ・密になるのを避けるため、入場制限を行う場合がございますので、ご了承ください。
- ・展示内容やイベント内容、開室時間、開館日など、コロナ感染拡大状況により、変更となる場合がございます。予めご了承ください。最新の情報はホームページをご覧ください、お電話でお問い合わせください。

郷土資料室利用案内



開室時間

* 郷土資料室

火～金 10:00-20:00

土・日・祝 10:00-18:00

* 郷土資料展示室

火～日・祝 10:00-17:00

郷土資料展示室見学の際は郷土資料室スタッフにお声がけください。



休室日

月曜日(祝日の場合は、翌平日)、年末年始



お問い合わせ

* 昭島市郷土資料室・郷土資料展示室

住 所 〒196-0012 昭島市つつじが丘3-3-15 アキシマエンス内

T E L 042-543-1523 (市民図書館共通)

F A X 042-542-8002 (市民図書館共通)

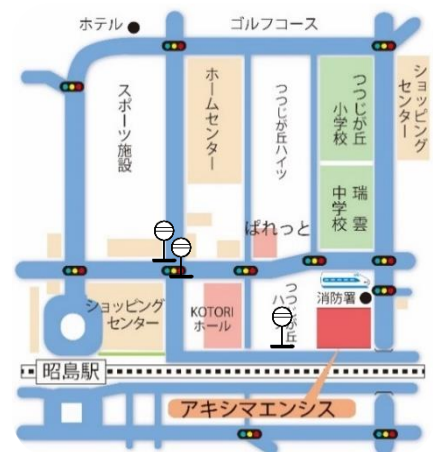
ホームページ https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage_list.html

* 昭島市教育委員会 生涯学習部 社会教育課 文化財係

住 所 上記に同じ

T E L 042-519-5717

F A X 042-519-7456



- * JR 青梅線昭島駅より徒歩 10分
- * 立川バス(昭21・22・23・24・26系統)「昭島市民会館」より徒歩5分
- * Aバス 北ルート「アキシマエンス」下車すぐ

郷土資料室だより「鯨-いさな-」 令和3年春号(通巻第1号)

編集・発行 昭島市郷土資料室

〒196-0012

東京都昭島市つつじが丘3-3-15

電話：042-543-1523

FAX：042-542-8002

令和3年5月発行

編集後記

郷土資料室だより「鯨-いさな-」を創刊いたしました。昭島の自然・歴史・文化、郷土資料室の活動を市民の皆さまにより知っていただけるよう、内容を充実させていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願致します。

(学芸員 玉川)